

小平市立小平第九小学校～「全国学力・学習状況調査」結果概要～

1 調査目的・対象

この調査は全国の公立小学校6年生及び公立中学校3年生の学習状況を把握・分析し、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的としています。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

●主として「知識」の力を見る国語A、算数A

身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技術などが中心の問題です。

●主として「活用」の力を見る国語B、算数B

知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容が中心の問題です。

●主として「知識」と「活用」の力を併せて見る理科

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関することを児童が答える調査です。

3 各教科の調査結果の分析

【国語】

状況の分析

課題

「知識」の力を見る国語Aの正答率は、全国平均を上回っている。「活用」の力を見る国語Bの正答率は全国平均を少し上回っている。基本的な知識は身に付いていると言える。活用する力は今後、さらに伸ばしていきたい。

目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題がある。文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだり書いたりするなどの指導が必要である。

学校で取り組む具体的な改善策

- ・重点取組の読書活動を継続する。ブックトークやおすすめの本などの活動を通し、今後も活用する力を伸ばせる活動を行い、学習に結びつけていく。
- ・自分の知識や経験と、課題との共通点や相違点を見つけて、自分の考えを書いたり、発表したりする活動を取り入れる。また、友達の発表を聞き、自分の考えと比較し、多様な考えに触れる機会を設ける。
- ・日常的に情報と情報とを関係付けて考え、情報を基に説明する機会を設ける。

【算数】

状況の分析

課題

「知識」の力を見る算数Aの正答率は、全国平均を上回っている。「活用」の力を見る算数Bの正答率は全国平均を上回っているが、東京都平均は少し下回っている。「知識」の力を見る算数Aの正答率が上がってきたのは、東京ベーシック・ドリルなどを効果的に活用してきた結果とも言える。

基礎的な知識はおおむね身に付いていると言えるが、今後は活用を主とする問題にも力を入れる必要がある。活用問題を効果的に行い、思考力を高めるようにする。また、領域では「数量関係」に課題がある。

学校で取り組む具体的な改善策

- ・「対話的に解決する児童の育成」という算数の校内研究の主題に迫るため、児童の「問い」を引き出し、「共有」を促す授業作りを積み重ねていく。
- ・ICT教材を効果的に活用する。
- ・習熟度に合わせた「わかる・できる」問題解決学習を進め、活用問題も効果的に行うようにする。
- ・児童相互の話し合いの視点と、教師が児童から引き出したい言葉を明確にし、効果的に話し合いができるようにする。
- ・計算等の基礎的な技能は反復練習を通して習熟させる。(適宜東京ベーシック・ドリルを活用する)

【理科】

状況の分析

課題

理科の正答率は、全国平均を少し上回っている。主として「知識」に関する問題のいくつかで、正答率が全国平均を下回っていた。

問題に対して根拠のある予想や仮説を発想すること、問題に正対した結論を導き出すことに課題がある。今後これらを意識して授業を改善する必要がある。また、基本的な知識をしっかり身に付けていく必要もある。

学校で取り組む具体的な改善策

- ・導き出した結論の信頼性を高めるために、実験を複数の方法で複数回行う。
- ・一般化した規則性を導き出すために、1つの事物で見られた現象だけではなく、複数の事物で見られた現象で検討する。
- ・他者の考えを基に自分の考えを振り返ったり、見直したりする時間を設ける。
- ・生きて働く知識を習得させるため、プリントやワークテストの活用だけでなく、主体的に問題を解決した結果として獲得される知識を重視するような授業を意識して授業改善を行う。

【質問紙】

状況の分析

課題

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するいくつかの質問の中で、「自分には、よいところがありますか」という質問で、「ある」と答えた児童の割合が他の質問に比べて全国平均を下回る結果となった。

「自尊感情」に関して、本校の過去3年間の結果と比べても低い数値となっている。教育活動全体を使って意図的、計画的、組織的に自尊感情を高めていく必要がある。

学校等で取り組む具体的な改善策

- ・たてわり班活動、児童会、学校行事など様々な教育活動の場面で人と関わりを機会を充実させることで自尊感情を高める。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う児童が多いことから、そのことを実感できる場を設定し、自己肯定感を高める。